

新しい友だち R3.9.6



ある日の雨上がり。
戸外に出た子ども達は、カマキリを発見！！
カマキリとの出会いから子ども達の気持ちを汲み取ってみました。

最初はカマキリにドキドキ・飛んじゃうかな？こっちに来るかも、と離れた所で見ていましたが、徐々にカマキリとの距離を縮めていきました。
間近で見たカマキリの顔、足、体。思ったことを言葉にし、友だちと共有する。大人にとっては些細な出来事も子ども達にとっては一大事！！



優しく触るんだよ！
そーっと、そーっと…

カマキリさんをお部屋に招待したい！子ども達の思いが膨らみます。でも、どうやって取ろう？すると、Kくんがバケツを持ってきました。

「おれがとってやるよ！」

なんと頼もしい言葉！！みんなはKくんに任せて見守ります。
バケツを上手にを使って捕まえることに成功！友だちに「すごい！」と言ってもらい誇らしげなKくんです。



口で足を舐めてる！

ごはんか何を食べるのかな？

カマキリさんもこっちを見てるね！

目はどこにあるのかな？



捕まえたカマキリを大事に部屋に運び、虫かごに入れてじっくり見ていた子ども達。「ごはんがないね」「おなかすいちゃうかな？」と心配する声が出ました。
すると「あとでばいばい、ってさよならしよう！」との声。いつまでも見ていたい、でも弱っていくのはかわいそう、その気持ちに胸が熱くなりました。
おやつ後、みんなで「ばいばい」と畑に戻してあげました。生き物を通して命の大切さに少しずつ気付いているようです。子ども達の生き物に対する優しさや友だちへの信頼する気持ち、いつまでも大切にしていきたいですね。